富津市健康づくり推進協議会会議録

1	会議の名称	令和6年度第1回富津市健康づくり推進協議会
2	開催日時	令和6年5月29日（水） 午後2時00分～3時10分
3	開催場所	富津市役所 2階 第1委員会室
4	審議等事項	(1) 富津市健康づくり推進協議会会長及び副会長の選出について (2) 健康ふつつ21（第三次）（素案）の報告・説明について
5	出席者名	富津市健康づくり推進協議会委員（11名） 小泉義行（富津市副市長）、岡根茂（富津市教育長）、北湯口広（君津木更津医師会 君津中央病院大佐和分院長）、金井要（君津健康福祉センター長）、荻込裕子（学校教育課指導主事）、平野弥生（富津市立中央保育所長）、大野泰代（富津市連合女性会長）、吉田あけみ（君津市農業協同組合理事）、吉原徳男（富津市老人クラブ連合会会長）、鈴木安夫（富津市民生委員・児童委員協議会会長）、渡邊まさ子（富津市スポーツ推進委員連絡協議会会長） 事務局（10名） 小野田隆博（健康福祉部長）、地引憲太郎（健康づくり課長）、小網代昇（農林水産課長）、桑田正和（健康づくり課長補佐）、鶴岡亜沙美（健康づくり係長）、圓川ひろみ（主査）、鈴木真実（総括管理栄養士）、原幸恵（主任歯科衛生士）、林晃平（主任保健師）、荒井脩杜（主事）
6	公開又は非公開の別	<u>公開</u> ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0人（定員3人）
9	所管課	健康福祉部健康づくり課 電話 0439-80-1268
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

令和6年度第1回富津市健康づくり推進協議会 会議録

発言者	発言内容
<p>桑田課長補佐 (事務局)</p>	<p>皆様こんにちは。</p> <p>私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます、健康づくり課長補佐の桑田と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議を始める前に、配布資料の確認をお願いいたします。</p> <p>本日お配りした、会議次第が1枚、委員名簿が1枚、座席表が1枚、事前にお配りしました、「健康ふつつ21(第三次)(素案)」ホチキス止めの資料が1部、報道発表資料が1枚でございます。</p> <p>資料が不足している方がいらっしゃいましたら、お手数ですが挙手をお願いいたします。</p> <p>〈次第1 開会〉</p> <p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和6年度第1回富津市健康づくり推進協議会を開会いたします。</p> <p>本日の会議は14名の委員のうち、出席者11名、欠席者3名で過半数を超えておりますので、「富津市健康づくり推進協議会設置要綱」第6条第2項により会議は成立しております。</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により、会議の公開と、会議録を作成し閲覧に供さなければならないこととなっておりますので、傍聴人の受け入れと会議録の公表について、ご理解の程をお願いいたします。</p> <p>なお、本日の傍聴人はおりません。</p> <p>また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますのでご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p>〈次第2 委員及び事務局職員紹介〉</p> <p>それでは、次第の2「委員及び事務局職員紹介」でございます。</p> <p>本日は、本年度1回目の協議会ですので、委員及び事務局職員の紹介をいたします。委嘱状は、机上配布により交付させていただいております。</p> <p>はじめに、小野田健康福祉部長から委員の皆様方の紹介をいたします。お名前を呼ばれた方は、恐れ入りますがその場でご起立をお願いいたします。</p>
<p>小野田部長 (事務局)</p>	<p>健康福祉部長の小野田でございます。</p> <p>それでは、委員の皆様を委員名簿の順に、ご紹介させていただきます。</p> <p>はじめに、「関係行政機関代表」富津市副市長 小泉義行委員でございます。</p> <p>同じく、富津市教育長 岡根茂委員でございます。</p>

続きまして、「保健医療機関代表」君津木更津医師会・君津中央病院大佐和分院長 北湯口広委員でございます。

同じく、君津木更津歯科医師会副会長 熊切篤委員でございます。

本日は所用のため、欠席でございます。

続きまして、「学校・保育所及び各種団体の代表」富津市学校教育課指導主事 苅込裕子委員でございます。

同じく、富津市立中央保育所長 平野弥生委員でございます。

同じく、富津市連合女性会長 大野泰代委員でございます。

同じく、君津市農業協同組合理事 吉田あけみ委員でございます。

同じく、富津市商工会副会長 藤平健司委員でございます。

本日は所用のため、欠席でございます。

同じく、富津市老人クラブ連合会会長 吉原徳男委員でございます。

続きまして、「千葉県君津保健所」から君津健康福祉センター長 金井 要委員でございます。

続きまして、「住民代表」大佐和地区千種新田地区代表区長 赤井義昭委員でございます。

本日は所用のため、欠席でございます。

同じく、富津市民生委員・児童委員協議会長 鈴木安夫委員でございます。

同じく、富津市スポーツ推進委員連絡協議会長 渡邊まさ子委員でございます。

以上、14名の委員の皆様です。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます、

健康づくり課長 地引でございます。

農林水産課長 小網代でございます。

健康づくり課長補佐 桑田でございます。

健康づくり係長 鶴岡でございます。

健康づくり課 圓川主査でございます。

同じく、鈴木総括管理栄養士でございます。

同じく、原主任歯科衛生士でございます。

同じく、林主任保健師でございます。

同じく、荒井主事でございます。

以上で、委員及び事務局の紹介を終了させていただきます。

〈次第3 副市長あいさつ〉

桑田課長補佐
(事務局)

それでは、次第の3「副市長あいさつ」でございます。

小泉副市長からご挨拶申し上げます。

小泉副市長

ただいまご紹介をいただきました、副市長の小泉でございます。令和6年度第1回富津市健康づくり推進協議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、公私ともに大変ご多用のところ、本協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃から健康づくりの推進はもとより、市行政に対しまして

ご支援、ご協力をいただいておりますことに対しまして、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

さて、本市におきましては、市長の施政方針の中で、「健幸に暮らせるまち」をテーマに掲げ、令和6年度の各種の施策や事業を行っているところでございます。

市民の健康につきましては、今年度から新たに3歳児健診に屈折・眼位検査を導入し、弱視や斜視の早期発見、早期治療につなげ、良好な視力を得られる可能性を高める取り組みや、特定健診及び各種がん検診の受診機会を拡充し、受診率向上を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を図り、適切な医療につなげる取り組みを進めているところでございます。

また、スーパーと連携した食生活改善事業において、お手元に資料を配布させていただきましたが、市内の食品小売店である株式会社ランドロームジャパン、イオンリテール株式会社それぞれの企業と共同し、「野菜たっぷり&減塩」をテーマとしたお弁当の商品開発を行い発売します。

株式会社ランドロームジャパンで発売するお弁当の中には、富津市食生活改善サポーターが考案し、健康づくり課管理栄養士が監修した「野菜たっぷり減塩レシピ」の中から【野菜とカニカマ炒め】が使用されます。なお、イオンリテール株式会社で発売するお弁当は、現在、商品開発に向けて準備を進めているところでございます。

また、ランドロームフードマーケット富津店、イオン富津店では、野菜摂取と減塩等に関する普及・啓発に関するイベントを併せて実施します。ぜひ、お立ち寄りいただければと思います。

今後も各種事業を充実させ、市民の健康増進に努めてまいりますので、皆様方の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本日は、委員の皆様、それぞれの立場からご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしくようお願い申し上げます。

〈次第4 議題(1)〉

桑田課長補佐
(事務局)

それでは、次第の4、議題の1「富津市健康づくり推進機協議会会長及び副会長の選出について」でございます。

本来であれば議事進行は会長が行うこととなっておりますが、本協議会委員の任期満了に伴い、4月1日付で新たに委嘱させていただきましたので、現在、会長・副会長が不在でございます。

そのため、会長・副会長が選出されるまでの間、仮議長を健康福祉部長の小野田が務めさせていただきます。

委員の皆様、ご了承願います。

それでは、小野田部長、議長席にお願いします。

小野田仮議長

それでは、会長及び副会長が決まるまでの間、暫時、仮議長を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

委員の皆様がご発言される際は、お手数ですが挙手をしていただき、

	<p>事務局がマイクをお持ちいたしますので、お座りになったままご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、会長及び副会長の選出方法について、事務局より説明をお願いします。</p>
地引課長 (事務局)	<p>はい、議長。</p> <p>会長及び副会長の選出ですが、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第5条第1項に「協議会に会長および副会長を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定める」と規定されております。</p>
小野田仮議長	<p>ただいま事務局より選出について説明がありましたように、会長及び副会長の選出については、それぞれ委員の互選によるということですが、互選の方法といたしましては、投票と指名推薦がありますが、いかがいたしましょうか。</p>
荻込委員	<p>はい、議長。</p> <p>指名推薦の方法でよろしいかと思えます。</p>
小野田仮議長	<p>ただいま、指名推薦という意見がありましたが、他にご意見はございますか。</p> <p>ないようでしたら、会長及び副会長の選出は、指名推薦の方法で行うことに、ご異議ございませんか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
小野田仮議長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、会長及び副会長の選出は指名推薦の方法によることといたします。</p> <p>始めに、どなたか、会長のご推挙をお願いいたします。</p>
吉田委員	<p>はい、議長。</p> <p>会長には、昨年度まで本協議会の会長をされていた、副市長の小泉義行委員がよろしいと思えます。</p>
小野田仮議長	<p>ただいま、副市長の小泉義行委員の推薦がありましたが、他にご推挙される方はございませんか。</p> <p>ないようですので、推薦のありました小泉義行委員を会長ということで、ご異議ございませんでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
小野田仮議長	<p>それでは、ご異議ないものと認め、会長は小泉義行委員をお願いをいたします。</p> <p>続きまして、副会長のご推挙をお願いいたします</p>

鈴木委員	<p>はい、議長。</p> <p>副会長には、君津木更津医師会・君津中央病院大佐和分院長の北湯口広委員を推薦します。</p>
小野田仮議長	<p>ただいま、君津木更津医師会・君津中央病院大佐和分院長の北湯口広委員の推薦がありましたが、他にご推挙される方はございませんか。</p> <p>ないようですので、推薦のありました北湯口広委員を副会長ということで、ご異議ございませんでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
小野田仮議長	<p>異議なしということですので、北湯口広委員を副会長に選任いたします。</p> <p>それでは、会長・副会長が選出されましたので、以上で、仮議長の職を解かせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
桑田課長補佐 (事務局)	<p>小野田部長ありがとうございました。</p> <p>それでは、小泉会長・北湯口副会長、恐れ入りますが会長席・副会長席へご移動をお願いいたします。</p> <p>それでは、小泉会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
小泉会長	<p>ただいま皆様からのご推挙いただきまして、引き続き会長に就任させていただきます小泉でございます。</p> <p>富津市健康づくり推進協議会の推進のために精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>また、円滑な議事進行に努めてまいりますので、ご協力いただきますようよろしくお願ひ申し上げます。</p>
桑田課長補佐 (事務局)	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、北湯口副会長からご挨拶をお願いいたします</p>
北湯口副会長	<p>ただいま副会長を拝命いたしました君津中央病院大佐和分院の北湯口と申します。</p> <p>微力ではございますが、富津市委員の皆様の健康増進のお役に立ちたいと考えておりますので、皆様方もご協力をよろしくお願ひいたします。</p>
桑田課長補佐 (事務局)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事進行につきましては、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第1項の規定により、会長が議長となると規定されておりますので、小泉会長、よろしくお願ひいたします。</p>

小泉議長

それでは、議長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。

ここで、会議録署名委員を指名させていただきます。今回は、平野委員、渡邊委員のおふた方をお願いいたします。

〈次第4 議題(2)〉

議題の2「健康ふつつ21(第三次)(素案)の報告・説明について」事務局の説明を求めます。

地引課長
(事務局)

はい、議長。

それでは、「健康ふつつ21(第三次)(素案)」について説明させていただきます。

健康ふつつ21(第三次)の素案について説明いたします。

お配りしてあります別冊をご覧ください。

始めに、本計画については、令和6年3月に計画期間が終了することから、本来であれば、令和5年度中に策定すべきところでしたが、数値把握や分析に時間を要したことから、この時期になりましたことをお詫びいたします。申し訳ございません。

それでは、計画素案の説明をさせていただきます。目次をご覧ください。

本計画は、

第1章 計画策定にあたって

第2章 富津市の健康に関する概況と特性

第3章 健康ふつつ21(第二次)の評価及び考察

第4章 健康ふつつ21(第三次)の目標と対策・取組

第5章 富津市食育推進計画

第6章 富津市自殺対策推進計画

第7章 計画の進行管理と評価の7つの章からの構成となります。

1ページをご覧ください。第1章 計画策定にあたってでは、3ページにかけて、

1 計画策定の趣旨、2 計画の位置づけ、3 計画の期間、4 関係機関との連携、5 計画の対象について、掲載しております。

1 計画策定の趣旨ですが、少子高齢化や疾病構造の変化の中で、国では、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け、国民の健康増進の総合的な推進を図るための基本的な事項を示した、令和6年度から令和17年度までを計画期間とした、二十一世紀における第三次国民健康づくり運動【健康日本21(第三次)】が策定されました。

本市においても、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた健康増進の取組を進め、市民の皆さんが生涯を通じて、住み慣れた地域で、心もからだも元気に、いきいきと暮らせるまちを目指し、一人ひとりの健康の保持・増進を図ることを目的として、【健康ふつつ21(第三次)】を策定します。

2 計画の位置づけですが、健康増進法に基づく【健康増進計画】として位置づけられ、【富津市みらい構想】、【健康日本21（第三次）】、【健康ちば21（第3次）】を踏まえて、本市の健康増進に関する施策を効果的に推進していくための計画とし、また、併せて、食育基本法に基づく【食育推進計画】及び自殺対策基本法に基づく【自殺対策推進計画】を含み、一体的に策定します。

3 計画の期間については、国の【健康日本21（第三次）】、【健康ちば21（第3次）】の計画期間と合わせ、令和6年度から令和17年度までの12年間とし、令和12年度に中間評価を行います。

中間評価のタイミングについては、本計画との関連性が深い第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）と第四期特定健康診査等実施計画の計画期間が令和11年度までとしていることから、同計画の次期計画内容を踏まえて、本計画の中間評価を実施することが望ましいと考え、本計画の中間評価については、令和12年度に実施します。

なお、5の計画の対象は、全市民を対象とします。

4ページをご覧ください。第2章 富津市の健康に関する概況と特性では、12ページにかけて、1 人口構成、2 出生、3 死亡、4 健康寿命、5 介護保険、6 国民健康保険・後期高齢者医療制度、7 健康診査の状況について、掲載しております。

その中で、6ページの死亡につきましては、令和4年の本市の主要な死因において、がんが1位であり、がん、心疾患、脳血管疾患の3つの生活習慣病で占める割合が全死亡数の52.0%と半数以上を占め、国、県と比較しても高い状況を図表5、図表6で示しております。

7ページの健康寿命についてですが、ここでは、自立して日常生活を送ることができる期間の平均を健康寿命としております。

令和元年度から令和4年度まで、国・県は男性は0.5歳、女性は0.4～0.6歳、健康寿命が延びていますが、本市の健康寿命は男性が1.7歳短縮し、女性は0.2歳延伸しております。

14ページをご覧ください。第3章 健康ふつつ21（第二次）の評価及び考察では、36ページにかけて、1がん、2循環器疾患、3糖尿病、4栄養・食生活、5身体活動・運動、6飲酒、7喫煙、8歯・口腔の健康、9こころの健康についての評価・考察を掲載しております。

その中で、がんにつきましては、16ページの図表22-1・22-2で男女別のがんの年代別罹患率を示しております。胃がん、大腸がんは40代以降、肺がんは50代以降、また、女性では、乳がんが30代以降増加し、子宮がんは、20歳代以降、乳がんに比べ極端ではありませんが増加傾向にあります。同じページの上段にあります図表21が、本市のがん検診年代別受診率になりますが、先ほど申しました、がんの年代別罹患率が高くなる年代での受診率が低い状況のため、引き続き、がん検診を受ける機会のない人が受診しやすい体制づくりを進めてまいります。

また、検診の結果、精密検査になった人には専門職による受診勧奨により、がんの早期発見・早期治療につなげられるよう取り組んで参ります。

17ページをご覧ください。2 循環器疾患につきましては、目標・評価指標の結果の中で、脳血管疾患、虚血性心疾患の危険因子となる、②高血圧、④メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合が増加傾向となっていることから、生活改善や医療受診への意識改善に向けた保健指導が重要となります。

21ページをご覧ください。3 糖尿病につきましては、目標・評価指標の結果から、①糖尿病性腎症による年間新規人工透析患者数は減少しておりますが、③血糖コントロール不良者の割合は増加しております。

血糖コントロール不良者のうち未治療者には医療機関への受診勧奨、治療中の人には、内服の確認や食事療法・体重管理等の継続した保健指導を実施していくことが重要となります。

23ページをご覧ください。ここでは、栄養・食生活について掲載しております。

24ページ上段の目標・評価指標の結果の中では、①適正体重を維持している人の増加を目標としておりますが、①-3肥満傾向にある子どもの割合や①-4, ①-5の項目で20～60歳代の男性、女性の肥満者の割合が増加しております。

特に、思春期の肥満は、高い確率で成人期へ移行し、生活習慣病を発症しやすくなるとの報告があります。子ども自身で食べ物を選択する力や、身体を動かす習慣づくりを早期から身に付けていく必要があります。また、食の好みは、幼児期から完成されると言われているため、学童期以前から子どもだけでなく、保護者への望ましい食事や体格の評価の見方を伝えていくことも重要となります。

38ページ、39ページをご覧ください。ここでは、第二次計画における目標と評価結果を一覧にまとめたものを掲載しております。

40ページをご覧ください。第4章 健康ふつつ21（第三次）の目標と対策・取組となります。ここでは、健康ふつつ21（第二次）の評価及び考察を踏まえて、健康ふつつ21（第三次）の課題を掲載しております。

1つ目として、がん検診の受診率向上による早期発見・早期治療

2つ目として、生活習慣病の発症予防・重症化予防

3つ目として、肥満予防と適切な食事、運動の習慣化

4つ目として、生活習慣・社会環境の改善の4点を課題としております。

41ページでは、この4つの課題について、8分野の項目に分け、52の目標をライフステージに沿って掲載しています。

42ページをご覧ください。2 課題別の目標と対策・取組では、56ページにかけて、4つの課題に対して8分野の項目の目標・評価指標と対策・取組を掲載しております。

4 2 ページから 4 3 ページをご覧ください。一つ目の課題とした
(1) がん検診の受診率向上による早期発見・早期治療について、目標・評価指標を定め、がんの発症予防に関する適切な知識や健診受診の重要性に関する周知・啓発の実施、また、受診機会の拡充や健診の利便性向上に努め、検診受診率向上に向けた対策・取組を進めてまいります。

4 4 ページから 4 8 ページをご覧ください。二つ目の課題とした、
(2) 生活習慣病の発症予防・重症化予防において、慢性腎臓病（CKD）と循環器疾患（脳血管疾患・心疾患）に対する目標・評価指標を定めております。若いうちからの健診受診の重要性を意識づけするための、周知・啓発並びに若年健診対象者へ効果的な受診勧奨を実施し、健診受診者には、個々の健診結果を生活と結びつけて、自ら生活改善できるように保健指導や栄養指導を実施します。また、必要な方には、医療機関への受診勧奨を行い、医療機関と連携を図り支援して参ります。

4 9 ページから 5 1 ページをご覧ください。三つ目の課題とした、
(3) 肥満予防と適切な食事、運動の習慣化において、栄養・食生活と身体活動・運動についての目標・評価指標を定めております。

栄養・食生活では、本市の食の実態として、特定健診などのけんしん結果から、塩分を多く摂取する傾向があり、生活習慣病による死亡に対する不健康な食事をみた研究報告によると、食塩の多量摂取が最も影響が大きい食事因子となっています。このことから、これは、千葉東病院の腎臓内科の先生の言葉ですが「薬の効果は一代限り、減塩の効果は末代まで」をスローガンに、生活習慣病発症予防のため、ライフステージに応じた栄養指導や保育所、幼稚園並びに小中学校と連携した保健・栄養指導、また、市内スーパーと連携した食生活会改善事業を実施し、バランスの良い食事や減塩の重要性などについての普及・啓発に取り組んで参ります。

身体活動・運動では、運動習慣の必要性についての知識の普及・啓発や健康増進施設の利用方法の周知並びに運動に適した場所の情報発信及び利用促進を図ります。

5 2 ページから 5 6 ページをご覧ください。四つ目の課題とした、
(4) 生活習慣・社会環境の改善において、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康について目標を定めております。

飲酒、喫煙については、適正な飲酒量や喫煙による健康被害についての正しい知識の普及・啓発や歯・口腔の健康については、ライフステージに応じたセルフケアの必要性や健診受診勧奨を実施して参ります。

5 7 ページ、5 8 ページをご覧ください。ここでは、第三次計画における課題別の目標・評価指標を一覧にまとめたものを掲載しております。

5 9 ページをご覧ください。第 5 章 富津市食育推進計画となります。まず、「食育とは」で、その目的、取組の説明を、「計画の位置づ

け」で食育基本法に基づく計画策定する旨を記載しております。

次に、基本的な考え方としまして、市民一人ひとりの取組み、地域で生産したものを、その地域で消費する「地産地消」の推進などを記載しております。

目標・評価指標としまして、朝食を欠食する市民の割合と健康な生活を送るための「早寝早起き朝ご飯」の推進、朝ごはんを食べる3つのメリット、学校給食における地場産物を使用する割合を記載しております。

続きまして、62ページをご覧ください。食育推進対策の目標達成に向けた本市の取組となります。

1つ目の目標として「乳幼児から大人まで、バランスのよい食事について情報提供」から、6つ目の「市内産・県内産の安全新鮮な農林水産物を安定的に供給」の目標を掲げており、担当課にて目標達成に向け取組みを進めてまいります。

63ページ、64ページをご覧ください。第6章 富津市自殺対策推進計画となります。ここでは、いわゆる、こころの健康を保つことの重要性やこころの健康を保つための対策として、こころの健康の保持・増進に関する知識の普及・啓発やこころの悩みに関する相談体制の充実などを掲載しております。

65ページをご覧ください。第7章 計画の進行管理と評価となります。ここでは、(1)進行管理の体制として、富津市健康づくり推進協議会と連携を図り、情報、課題を共有し、進捗管理を行ってまいります。

(2) 評価として、実効性のある計画にするため、PDCAサイクルに沿って進行管理を行い、計画期間中の課題整理をした中で、取組に反映させていくこととします。

66ページから68ページは、参考資料となっており、69ページに富津市健康づくり推進協議会委員名簿を掲載しております。

以上が健康ふつつ21（第三次）の素案となります。

なお、今後のスケジュールでございますが、

6/25 議会（最終日）全員協議会において（素案）の報告、説明、

7/1～7/31 パブリックコメントの実施、

8月 健康づくり推進協議会（最終案）の検討、

9月 議会全員協議会へ計画決定の報告、

以上のスケジュールで進めて参ります。

説明の終わらせていただきます。

小泉議長

事務局の説明は終了しました。

ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

金井委員

はい、議長。

全体の説明ありがとうございました。

健康ふつつ2 1 第三次計画が今年の3月までにできず、引き続き行われたということで、健康に関する特性等のデータに関して言いますと、人口動態統計を参考にしてる部分がありますが、人口動態統計の概数値が6月上旬来月にも出てきますので、令和5年度の数値を人口なりのところには参考で差し込む方がいいのではないかと思います。

令和4年度の数値を書いておりますが、令和4年度の数値となるとちょっと古い感じを受けますし、令和4年度から5年後10年後というような推移に関してはそのままいいと思います。参考に令和5年のところの概数値もまた、もし間に合うのであれば、確定値が9月に出版するので人口動態統計は、それを差し挟むとかまたは、紙1枚挿して、人口4万2000人がこうなりましたとか、人口の分布はこうなってますというようなことも入れる余地があるのかなと感じました。

7ページになります。健康寿命がきているのですが、この前に平均寿命が来るのではないかと思います。それは何か書かない意図があるのでしょうか。

地引課長
(事務局)

はい、議長。

策定している中で特に入れなかった意図はございませんが、平均寿命また健康寿命という比較の中で、それが望ましいというようなこともあるかと思いますので、追加等の検討をさせていただきます。

金井委員

ぜひ健康寿命の前に平均寿命を入れていただければと思います。そうすると、平均寿命と健康寿命の間の数年というのが不健康な時期というようなことがわかりますし、ないのがちょっと違和感を感じました。

続いて評価及び考察のところ、がんのことに関する受診率また、16ページの考察のところ、がん検診の種類を調べるシステムを作りたいということを書いておりますが、職域で受診している人たちは、市の方にデータが上がってこないというのは、どこの市町村でも非常に悩んでるところで、実際ここに住んでるけれど東京の方に勤務している、千葉の方に勤務してる方に関して言うと、職域連携でも把握できないものになりますので、市の方から一律がんの受診券等を送る際に、返信用の葉書等を差し込むというのはできないでしょうか。

そこに職域で検診を受けてますが、この検診は昨年度受けましたというようなことが戻ってくると、受診率に参考につけることができるのではないかと思います。

いつもがんの受診率を見てますと1%、2%来ていて、この1%、2%は実は会社とか勤めていらっしゃる方、また国民健康保険の対象になる方、自営業の方などで、その市民のうちの一部の方が検診券を持って使ったということなので、いつも把握できてないなと思います。

4万2000人という人口であれば多分1万ぐらいの方が既に職場

の方で受けている、または働いてる配偶者の方に伴って受診しているということで、結構受診率はあると思います。そういう工夫をされてはいかがでしょうか。

葉書に名前や住所を書くと返信しにくいのですが、番号が書いてあり、番号はこちらでは誰か把握できるものにし、内容としては、何歳の男性、何歳の女性みたいなのであれば、昨年度がん検診、健康診断を会社で受診し、胃がん、大腸がん等の項目に丸つける形にすれば、送る方も抵抗ないですし、集めたときにも匿名性の保てる数値として扱われるのではないのでしょうか。100万人の人口がいる市ならできませんが、富津市だとできるのではないかと思います。

地引課長
(事務局)

はい、議長。

金井委員本当に貴重なご意見ありがとうございます。

まさに金井委員がおっしゃったとおり、うちの方も何とかしてその検診の実態を把握したいというところが悩みどころでありまして、金井委員がおっしゃったようにアンケート的な形もとりたいたいというようなことを今まさに検討段階に入ったところでございます。また、金井委員のお考えだったり、いいやり方等がもしあればまたお聞きしながらご指導いただき進めていきたいというふうに思っております。

金井委員

ありがとうございます。もう一つ言うと、ただ葉書だけでなく、そこにプライバシー用の保護シートが一緒に入っていれば、貼るだけで返信する方も抵抗がなくなるのではないかと思います。

それで捕捉率が上がれば、実はもう25%、30%は受診済みというようなことがわかれば、市としても、きっと安心できるのではないかと思いますし、20ページの方にあります受診勧奨に繋がるような気がします。

21ページのところの糖尿病、また合併症として人工透析患者数のところに関して見ますと、人工透析導入後、国民健康保険に加入する人が多い状況というのは、逆に悩ましいことで、もしかすると糖尿病人工透析に至ると、会社を辞めざるを得ない状況が実際にあるのではないかと思います。

ですので、なおさら糖尿病なりの早期発見、早期治療をして透析に至らないようにするのは、すごく大切なことだと感じます。

42ページもがん検診の方の率ですけども、今と同じようなアンケートをすることで対応していただければ、実際こちらで把握してる以上にこれだけの人数が実は既に会社検診、職場検診として検診を受診していることがわかれば、すごい大きなデータになると思います。

他の市町村でもなかなかそれはできないことなので、人口規模が4万人で、実際職場に行った人が2万人程度と思えばできないことはないんじゃないかとすごく感じます。

50ページになりますが、今日報道発表された中にもありますが富津市食生活改善サポーターということで、ボランティア関係の方々だと思うんですが、この方たちはどういう方たちで、またどれぐらいの

鈴木総括管理栄養士 (事務局)	規模の活動人数とされてるんでしょうか。 はい、議長。 市民の方で構成していきまして、2年に一度養成講座を受けられた方になります。 栄養や食生活のことについて学んだ方たちでして、現在19名おります。
金井委員	ありがとうございます。 またこの活動が広まってくれば、もっといろんな方たちが参加してくれるのではないかと感じます。 今の質問で終わりです。ありがとうございました。
地引課長 (事務局)	はい、議長。 かなり貴重なご意見ありがとうございます。まさに金井委員がおっしゃっているとおりの部分もありましたし、最初の人口の関係等の話につきましては気がつかない部分だったかなというところで認識を改めていきたいと思っております。 ありがとうございました。
小泉議長	他にございませんか。
金井委員	はい、議長。 冒頭副市長がおっしゃっておりました、3歳児健診に目の屈折検査等を入れるということですが、もうちょっと具体的によろしいでしょうか。この計画の中には入っていないように思います。
圓川主査 (事務局)	はい、議長 今年度の健康づくり課の新規事業として、3歳児健診の眼科を導入いたしました。こちらの計画には載せてありませんが、今年度母子の事業の中では大きな政策となっておりますので、ご報告をさせていただきます。 3歳児のお子さんに対してスポットビジョンスクリーナーという機械で、弱視、遠視、近視、乱視、斜視等の検査をします。機械が基準値にのっとって、もし必要があれば精密検査ということでそれをおすすめして、弱視等の早期発見と早期治療に向けてまいるような検査でございます。
金井委員	子供さん1学年300人から350人ぐらいですか。
圓川主査 (事務局)	今は3歳児健診ですと160人ぐらいが対象でございます。

金井委員	ありがとうございます。
小泉議長	<p>他にございませんか。</p> <p>それでは、特にないようですので、事前にご質問・ご意見のありました内容についての事務局の回答・説明を求めます。</p>
鶴岡係長 (事務局)	<p>はい、議長。</p> <p>それでは、事前にいただいておりますご意見について、回答・説明いたします。</p> <p>渡邊委員より、「広報(こうほう)ふっつの活用として、毎月テーマを決めて、健康ふっつ21(第三次)に示されている数値などを取り上げ、自分自身や家族が健康であるためには、何が大切なのか周知してはどうか」とのご意見をいただきました。</p> <p>例を2点ご提示いただいております。7ページをご覧ください。</p> <p>1点目につきましては、7ページに示してあります「健康寿命」の推移について、渡邊委員ご自身が講師を務めております公民館の健康教室で、例えば、健康寿命で女性が延伸、男性が短縮していること等をご紹介くださるとのご意見をいただきました。こちらの回答につきましては、市民の皆様が集まる機会にぜひご活用いただければと思っております。</p> <p>2点目につきましては、毎年9月1日～10月31日の二か月間は国・県をあげた取組「ガン征圧月間」であり、検診受診率向上や、医療費軽減を目指すなど、がん検診のメリット(早期発見・早期治療・治せる)などを広く周知してはどうか」とのご意見をいただきました。市では広報ふっつやホームページ、安全・安心メールにより、各種けんしんを実施する月に日程をご案内させていただいておりますが、「ガン征圧月間」の月には、がんの早期発見、早期治療の必要性など、更に充実した内容で周知して参ります。また、健診会場や健診結果説明会、その他の健康教育の会場におきましても今後更なるがん検診等の受診勧奨に取り組んで参ります。貴重なご意見、ありがとうございました。事前にご質問、ご意見のありました回答・説明は以上となります。</p>
小泉議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他に何か付け加えることはございますか。</p>
渡邊委員	<p>月に1回、3つの公民館で健康教室があるんですけど、体操を開始する前に1人約3分間、1ヶ月間どう過ごされましたかっていうことでお話をする時間を設けています。そうすると1人暮らしの参加者がすごく多く、教室が終わった後に今週よその人に初めて喋りましたっておっしゃる方がいます。</p> <p>また、30年以上中央公民館の駐車場をお借りしてラジオ体操をやっているんですけど、約10分の体操終了後に参加者同士コミュニケーションをしたり、自分たちでウォーキングコースを決め一緒に歩い</p>

たりと、自主的に自身の健康管理、健康増進をするという方向に動いてくださることがとてもうれしいです。

今年の夏に青堀小学校と天羽小学校で2日間ずつラジオ体操を行う計画を市からご提案いただいています。それをもとにして中央公民館ではラジオ体操を、特に夏休み期間の7月20日から8月31日まで毎日行います。

そして、今年の夏は3会場で行う予定なんですけど、来年からは今年の経験をもとにして、市内各地で展開できればいいなということを今希望しています。

小泉議長

貴重なご意見ありがとうございます。

話はずれるかもしれませんが、介護福祉課の担当で、高齢者を対象にいきいき百歳体操というのを各地区でやっています。

このいきいき百歳体操だけではなく、そこに市の行事をタイアップさせて、いろいろお話をしたり、お話を聞いていただいたり、また、業者さんの方でも、保険会社さん、ヤクルトさん、民生委員さんとかも協力していただいて、会場に来ていただき健康的なお話をしてくれるとか、ヤクルトを無料で配っていただくとか、そのような事業も行ってありますので、長く大きく言えば、いきいきと健康で暮らせるという健康づくりになると思いますので、集まったところでお話できる機会がありましたら、皆さんからもすすめていただければと思います。市からのお願いとなります。

他にいかがですか。よろしいですか。

それでは、特にないようですので、本日の議題は終了といたします。

〈次第5 その他〉

続きまして、次第の5「その他」として、委員の皆様から何か、ご意見などありますか。

事務局から何かありますか。

地引課長
(事務局)

はい、議長。

本日は、慎重審議ありがとうございました。本日、いただいた貴重なご意見につきましては、最終案策定にあたって、参考とさせていただきます。

次回の本協議会の開催予定でございますが、皆様には、ご多用のところ、大変恐縮でございますが、第2回の健康づくり推進協議会の開催を8月20日(火)の午後に実施したいと考えております。

議題につきましては、先程ご説明しました「健康ふつつ21(第三次)(最終案)」の検討と、「令和5年度事業実績及び令和6年度各種事業内容について」をご説明させていただきたいと考えております。

なお、開催通知は準備が出来しだい改めて送付させていただきます。

暑さ厳しい時期に大変恐縮ですが、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

事務局からは、以上でございます。

小泉議長

以上をもちまして、令和6年度第1回健康づくり推進協議会を閉会とさせていただきます。

委員の皆様には長時間に渡り、慎重審議ありがとうございました。